

科目名	ソーシャルワーク						
	【社会福祉士必修】						
授業形態	講義	学年	2年	開講時期	通年	単位数	4単位
担当教員	木村 淳也						

内容および計画	本講義では、相談援助に関連する理論および方法について学びます。さまざまな援助の進め方、かかわり方の基盤となる専門的援助技術の体系を本講義で学び、クライアントに適切にかかわる方法を選択する力を共に育みましょう。						
1	オリエンテーション						
2	ソーシャルワークにおける対象の理解 ・ソーシャルワークの概念と定義について学ぶ						
3	ソーシャルワークにおける対象の理解 ・ソーシャルワークの対象について学ぶ						
4	ケース（ケア）マネジメント ・ケース（ケア）マネジメントの基本と過程について学ぶ						
5	ケース（ケア）マネジメント ・ケース（ケア）マネジメントのアセスメントとプランニングについて学ぶ						
6	ケース（ケア）マネジメント ・ケース（ケア）マネジメントの特徴について学ぶ						
7	グループを活用したソーシャルワーク ・グループワークの意義と過程について学ぶ						
8	グループを活用したソーシャルワーク ・自助グループについて学ぶ						
9	コーディネーションとネットワーキング ・コーディネーションの意義と目的について学ぶ						
10	コーディネーションとネットワーキング ・ネットワーキングの意義と目的について学ぶ						
11	社会資源の活用・調整・開発 ・社会資源の活用・調整・開発の意義と目的について学ぶ						
12	社会資源の活用・調整・開発 ・ソーシャルアクションについて学ぶ						
13	個人情報の保護 ・個人情報保護の考え方について学ぶ						
14	ケースカンファレンスの技術 ・ケースカンファレンスの意義と目的について学ぶ						
15	ケースカンファレンスの技術 ・ケースカンファレンスの実際について学ぶ						
16	さまざまな実践モデルとアプローチ ・実践モデルとその意味について学ぶ						
17	さまざまな実践モデルとアプローチ ・心理社会的アプローチ、機能的アプローチ						
18	さまざまな実践モデルとアプローチ ・問題解決アプローチ、課題中心アプローチ						
19	さまざまな実践モデルとアプローチ ・危機介入アプローチ、行動変容アプローチ						
20	さまざまな実践モデルとアプローチ ・エンパワメントアプローチ						
21	さまざまな実践モデルとアプローチ ・ナラティブアプローチ、解決志向アプローチ						
22	スーパービジョンとコンサルテーション ・スーパービジョンの意義と目的について学ぶ						
23	スーパービジョンとコンサルテーション ・コンサルテーションの意義と目的について学ぶ						
24	ソーシャルワークにおける情報通信技術の活用						
25	事例研究・事例分析 ・事例研究の意義と目的について学ぶ						

26	事例研究・事例分析 ・事例分析の意義と目的について学ぶ
27	相談援助の実際
28	相談援助の実際
29	相談援助の実際
30	振り返りとまとめ

教科書	タイトル	新・社会福祉士養成講座 8 相談援助の理論と方法 第3版 第2刷		
	著者名	社会福祉士養成講座編集委員会編	出版社	中央法規出版
	ISBN	9784805851043	発行年	2016

参考書	「知りたい、ソーシャルワーカーの仕事」、岩波ブックレット、2015年 「ソーシャルワーカーのジリツ」、生活書院、2015年 「臨床ソーシャルワーク」、大学図書出版、2015年
-----	---

成績評価	評価方法		割合
	授業内レポート		40 %
	期末レポート		60 %

学習到達目標	相談援助の概要について理解する。 相談援助の方法と技術について理解する。 相談援助の具体的展開について理解する。
--------	--

先修条件	
------	--

その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞などで身近な福祉に関する課題について知識を得るよう心がけてください。</li> <li>・講義では自分の意見を大切にすると共に、他者の意見も大切にしよう心がけてください。</li> <li>・参考資料、配布資料等を用いて、復習、予習を心がけてください。</li> </ul>
-----	---